

20歳から受診できる「子宮頸がん検診」。

大切な自分のからだをメンテナンスしていくことは、大人となった皆さんに、とても必要なことです。

20歳になったらがん検診を受診しましょう。

子宮頸がん検診は、こんな検査です。

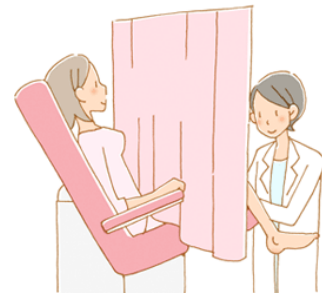
- 1、診察（内診、視診）
- 2、子宮頸部細胞診

綿棒などで子宮の入り口を軽くこすって細胞を取ります。

※取った細胞は、顕微鏡で確認します。

受診料 頸部 1,000円
頸部・体部 1,700円

※体部の検査が必要かどうかは、医師が判断します。

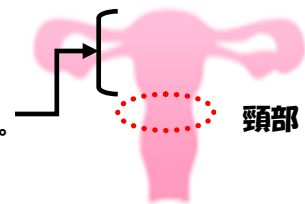


内診って？ 子宮を中心とした下腹部と、会陰（膣の出口）まわりを診察すること。女性の膣から、指または専用の器具を挿入して、膣や子宮口の状態を確かめます。

視診って？ 目で見て診断することをいいます。

頸部って？ 子宮の入り口の部分です。

体部は、子宮の上3分の2を占める部位のことです。



知っていますか？

日本人女性が生涯でがんにかかる確率は、2人に1人です。

部位	がんにかかる確率	何人に1人？
全がん	50.2%	2人
乳がん	10.9%	9人
子宮がん	3.4%	30人

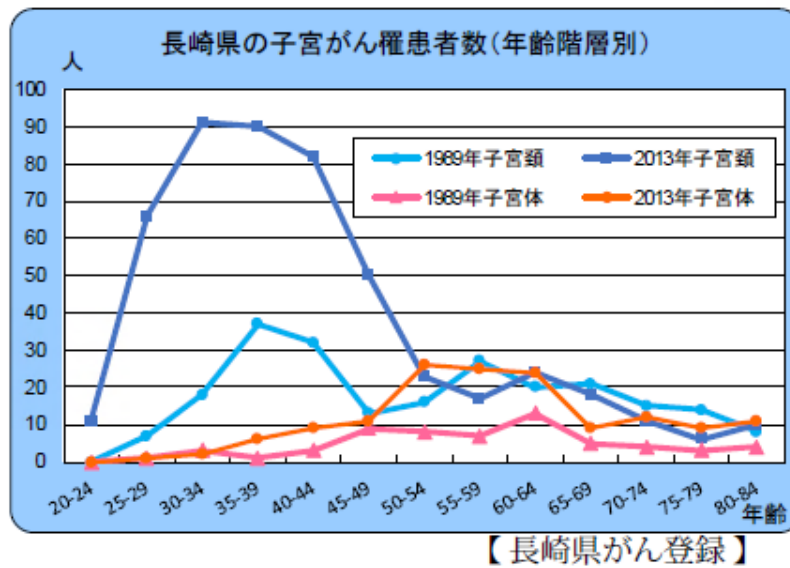
20、30 歳代は 最も子宮頸がんになりやすい年代です。

*子宮頸がんは早期のうちは、ほとんど自覚症状がありません。

「特に異常がないから大丈夫」と思っていないですか？
早期には、自覚症状がないため、「異常を感じてから」では手遅れになる場合があります。

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター 地域がん登録全国推計による 2013 年のがん罹患データ

長崎県の子宮がん罹患患者数（年齢階層別）



*子宮頸がんは、早期がんのうちに見つけて治療すれば、90%以上が治癒されるといわれています。

ここでいう治癒とは、診断時からの5年相対生存率です。

出典：がんの統計 '17 全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率

長崎市の子宮がん検診は、2年度に1回受けることができます。
定期的に、必ず受診しましょう！

多くのがんは、2年度に1回の検診で早期発見できます。

ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、もし異常を感じたら、すぐに病院を受診しましょう。